

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生		環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		かとう ふみお				
氏名		加藤 文男				
所属	名称	株式会社ちば南房総(枇杷倶楽部)				
	役職	相談役				
連絡	住所	(公開)	〒 299-2416			
			千葉県南房総市富浦町青木239-1 (自宅)			
	連絡先	(公開)	E-mail kato.fumio.jp[アットマーク]gmail.com			
		(公開)	TEL 090-8847-5444		FAX -	
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		高校卒業後、富浦町役場に採用され、主に観光開発、企画、財政、地域情報化業務に携わる。1991年からは道の駅とみうら「枇杷倶楽部」の計画立案、運営に12年間専従で取り組む。初代駅長。2006年の町村合併後は商工観光部長、生活環境部長、企画部戦略プロジェクト推進部長、企画部長を歴任。 ・1999年04月 千葉県立館山高等技術専門学校 観光概論非常勤講師 ・1999年04月 千葉県総合5か年計画懇談会委員(千葉県) ・2004年11月 観光カリスマ認定(内閣府・国土交通省・農林水産省) ・2007年01月 地域中小企業サポーター(経済産業省・国土交通省) ・2007年～09年 ベトナム平和と発展財団の招聘により訪越 ・2007年03月 地域活性化伝道師(内閣官房) ・2008年06月 地域力創造アドバイザー(総務省)				
著作・論文等		・道の駅とみうら「枇杷倶楽部」を語る(観光文化 2005年9月) ・まちにテロリスト攻撃情報が流れた(地域政策研究第36号 2006年9月) ・まちを変えた集客手法(季刊 まちづくり 22号 2009年3月) ・道の駅を活用した地域振興の手法(ベトナム平和と発展財団 活動報告書 2009年3月)				
取組概要		地域産業と文化の振興、情報発信基地を目指した「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」の初代駅長として、計画の立案から、開設後の運営管理に12年間にわたって取り組みました。その間、事業効果を高めるため、特産の枇杷を活用した商品開発や、集客資源を束ねて誘客する「一括受発注システム」を稼働させ、地域経済を拡大させるとともに、自治体が全額出資した道の駅の運営法人の黒字経営を維持させました。さらに、人形劇などの地域文化の磨き出しや、インターネットを活用した広域情報の発信による地場産業振興など、多角的な手法で広域的な地域振興を進め、観光客の増加と平準化、約60名の雇用の創出をもたらしました。 近年では、道の駅による地域活性化の開発途上国への応用のため、タイ、ベトナムでの活動を続けています。				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

メッセージ	地域振興を目指した事業が赤字となれば、かえって地域振興を阻害することになる。しかし、選んだその道は苦難の道。座して衰退を待つのか。勇気を奮い半歩踏み出せば風向きが分かり、思いきって階段を 1 段登れば風景が変わるはず。第 3 セクターは地域を写す鏡。町のど真ん中に穴を掘れ。		
関連ホームページ	http://www.mbosso-etoko.jp/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。